

2009年1月30日

報道関係者各位

T-Engine フォーラム
ユビキタス ID センター

T-Engine フォーラムが『アクティブタグを用いた通い容器 ロケーション管理システム』の実証実験を開始

T-Engine フォーラム/ユビキタス ID センター（所在地：東京都品川区、会長：坂村 健・東京大学教授）は、ユビキタス・コンピューティング社会の実現に向けて、モノや場所に ucode を割当て、それを自動認識し、モノや場所にくくりつけられた情報を使ってサービスする、ユビキタス ID 技術の研究開発を進めております。2008年度は実用化に向けて、株式会社イトーヨーカ堂（所在地：東京都千代田区、代表取締役会長最高経営責任者：鈴木 敏文）、横浜市場センター株式会社（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：山之上 竹夫）、横浜丸中青果株式会社（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原田 篤）、横浜ロジスティクスサービス株式会社（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：阿久津 好秀）等と共同で、当フォーラムが推進するユビキタス ID 技術による、『アクティブタグを用いた通い容器ロケーション管理システム』の実証実験を開始いたします。この実証実験は、農林水産省「平成 20 年度食品産業競争力強化対策事業食品流通効率化対策事業」の一環として実施されるものです。

従来提案されてきたパッシブタグによる物流システムでは、一括検品による検品作業や管理作業の効率向上が主眼とされてきましたが、一括検品を行うときにパッシブタグを 100%検出することができないという問題点が指摘されてきました。この問題点を克服すべく、新たな技術としてアクティブタグに着目いたしました。アクティブタグは電池を内蔵した RFID タグです。アクティブタグは、パッシブタグと異なり通信距離が数十メートルあり、さらに再送処理なども可能であるため、検出を確実に行うことが期待されます。また、温度計測を行うことが可能であり、食品の品質管理に貢献できることが期待されます。

本実証実験では、通い容器に内蔵した ucode アクティブタグが卸売市場や物流センターに設置する基地局と定期的に通信することで、その先に接続されている情報システムが通い容器のロケーション（位置情報）を正確に把握する仕組みを実証します。荷受の状況に応じて商品を置く場所が一定でない市場や物流センターにおいて、商品の効率的な管理が可能となります。また、ucode アクティブタグに内蔵した温度センサーを用い、配送途中の商品の温度履歴を管理し、本ロケーション管理システムと連動することで、商品の荷受や出荷時刻の管理などを含め、商品がどのような環境で流通しているかを事業者が正確に把握することが可能となります。これら情報に関して事業者を含めたプレーヤーにフィードバックすること、また、その事業者が、消費者からの問い合わせに対してトレーサビリティ情報（商品の安全・安心）として提供可能なビジネスモデルの確立、検証を実施いたします。

◆主実施組織

- T-Engine フォーラム、ユビキタス ID センター
(所在地：東京都品川区、会長：坂村 健)

◆参加組織 (50 音順)

- 株式会社イトーヨーカ堂 (所在地：東京都千代田区、代表取締役会長最高経営責任者：鈴木 敏文)
- 横浜市場センター株式会社 (所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：山之上 竹夫)
- 横浜丸中青果株式会社 (所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原田 篤)
- 横浜ロジスティクスサービス株式会社 (所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：阿久津 好秀)
- YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所 (所在地：東京都品川区、所長：坂村 健)

等

◆実証期間： 2009 年 2 月 1 日～2 月 28 日

◆本件に関する問合せ先

T-Engine フォーラム

電話：03-5437-0572 (YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内)

URL：http://www.t-engine.org/ E-mail：press@t-engine.org

担当：伯田